



所属ニュース・業務紹介・刊行誌

全国に先駆けた観光防災まちづくりの取組現場を訪ねて ～「東部くるまざ会」を開催しました～

建設支援局建設技術企画課

建設技術監理センターでは、協働による地域づくりの普及啓発を図るため、地域の社会課題の解決に向けて、計画段階から幅広い世代の方々が参画し、協働に取り組んでいる現場を訪問し、意見交換を行う研修会「くるまざ会」を県内4会場において実施しています。

最後となる第4回目(12月21日)の訪問先である伊豆市土肥では、地域住民、有識者、行政による「伊豆市津波防災地域づくり推進協議会」が中心となり、全国に先駆けた観光防災まちづくりを推進しています。

土肥地域は、風光明媚な海岸や温泉を活かした観光産業が主体ですが、人口減少・高齢化、津波災害リスクに直面しており、産業と地域の維持が重要な課題となっています。このため、協議会が中心となって、地域社会を構成する全ての人々と丁寧に議論を重ね、観光・環境・防災のバランスのとれたまちづくりの方向性や取組を示した計画(「伊豆市“海と共に生きる”観光防災まちづくり推進計画」)を策定し、地域主体で住民や観光客の避難訓練等に継続的に取り組んでいます。このような取組が評価され、「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2018」のグランプリを受賞しました。

当日は、行政機関、NPO等の参加者(計19名)が、伊豆市及び土肥温泉旅館協同組合の関係者から、計画策定に向けた地域住民とのリスクコミュニケーション、観光業における防災への取組、津波対策施設等の説明を受けました。その後、「災害のリスクコミュニケーション」をテーマとした意見交換を行いました。

意見交換では、土肥と同じ悩みを持つ伊豆半島の市町職員の交流が図られるとともに、観光客が防災訓練に楽しんで参加できるアイデア等の意見が出ました。

【くるまざ会の様子】



取組内容の説明



津波避難タワーの説明



松原公園における津波対策の説明



意見交換

[問合せ先] 建設技術企画課 技術支援第1班

[電話番号] 054-268-5003